

ぶん活かわら版

発行日：令和2年（2020年）6月16日

発行者：滋賀県文化スポーツ部

文化財保護課文化財活用推進室

第22号

（電話番号：077-528-4681）



7月23日は「文月のふみの日」

メールやラインでのやり取りが日常になり、手紙を書く機会が減っていませんか？大切な人から届く手書きの手紙は心に響きますよね。戦国武将たちも、味方や敵に宛て、たくさんの手紙＝書状を出していました。

大津市歴史博物館では現在、常設展示室で明智光秀の書状を展示しています。比叡山焼討ちの10日前に、雄琴の土豪・和田秀純に宛てたもので。。。光秀の人物像にも迫ることができる貴重な史料を見ることができます。7/7からは、光秀直筆の書状が他に3通も公開されます。

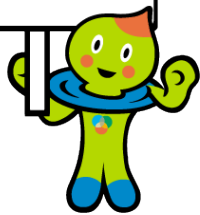
光秀関連では、西教寺内の禅明坊光秀館で、明智光秀多賀出生説の根拠となった「淡海温故録」も展示中です（～7/13まで）。大河ドラマ再開に向け、ホンモノを楽しんでみてください。

湖国の祭り歳時記

開催日	祭り名称	社寺	市町	時間帯等	アクセス	問合せ先	電話番号
7月 18～24日	千日大祭★	太郎坊宮 (阿賀神社)	東近江市	19時～22時頃	近江鉄道太郎坊宮前駅から徒歩約20分	太郎坊宮 (阿賀神社)	0748-23-1341

★境内一円で神灯提灯点灯。例年の花火などは実施されませんが、今年は短冊に願い事を書いたガラス風鈴の奉納が行われます（7/15～8/31、風鈴絵付け体験も実施）。涼やかな音色とともに楽しみいただけます。

夏越の大祓 茅の輪くぐり



大祓（おおはらえ）

心身の穢れなどを祓い清めるもので、6月と12月の末日の年中行事。特に6月の夏越の祓（なごしのはらえ）は、疫病除けや無病息災を祈念するもの。

茅の輪（ちのわ）くぐり

主に茅（ちがや）やヨシなどの草で作られた「茅の輪」をくぐる、夏越の祓の行事の一つ。境内に立てられ、これをくぐることによって半年間に溜まった病や穢れを落とし、残り半年を無事に過ごすことができると言われている。

滋賀県内の神社でもこの時期に茅の輪を見ることができます。どの神社でも自由にくぐるができるようになってきているので、新型コロナウイルスの終息を願い、体験してみたいはかがですか？

茅
での
き輪
るく
神ぐ
社り
が

市町	神社	設置時期※	市町	神社	設置時期※
大津市	建部大社	～7月初めまで	近江八幡市	沙沙貴神社	6/28～30
大津市	天孫神社	6/25～7/1頃	近江八幡市	日牟禮八幡宮	6/30～7/2頃
大津市	近江神宮	6/29午後～6/30	甲賀市	田村神社	～6/30
彦根市	千代神社	6/26～7/1	野洲市	御上神社	6/29～7/6
彦根市	荒神山神社	6/27～7/1	野洲市	兵主大社	6/25頃～7/5頃
長浜市	長浜八幡宮	～6/30	東近江市	野々宮神社	6/20～6/30
長浜市	豊国神社	6月末～7月頭	竜王町	苗村神社	6/27頃～30
草津市	伊砂砂神社	6/28～7/5	多賀町	多賀大社	～6/30

※茅の輪くぐりができる神社は上記以外にもあります。茅の輪は神社ごとに少しずつ異なるので、身近な神社で探してみるのも面白いのでは。三密対策のため、神事が行われているときは避け、混み合っているときは譲り合い、時間をずらすようにしてください。※茅の輪は植物で作られているため、天候等により早めに撤去されたり、予定よりも長く置かれることもあります。設置時期はおおよその目安です。

多賀大社の夏越の大祓と茅の輪→



滋賀県発祥の「お名前」と文化財

鈴木さん、高橋さん、田中さん・・・日本各地にはたくさんのお名前がありますが、滋賀県が発祥のお名前があることをご存じですか？お名前発祥の地とともに、ゆかりの文化財を訪ねてみませんか。

<佐々木さん>

近江八幡市安土町の沙沙貴神社を中心とした沙沙貴郷あるいは佐々木庄が発祥となっています。神社の境内には「佐々木源氏発祥の地」の石碑や、佐々木源氏の家系図が掲げられています。

【文化財】沙沙貴神社 本殿、拝殿、楼門など：県指定有形文化財



<小椋（おぐら）さん>

東近江市の奥永源寺地区の小椋谷が発祥です。この一帯は木をろくろで削り、お椀や盆を作成する「木地師（きじし）」文化発祥の地とも言われています。全国を巡り歩いた木地師が「おぐら」（大蔵、小倉とも）さんのお名前を広めたのかもしれない。

【文化財】氏子狩帳（全国の木地師を氏子に登録した台帳）：県指定有形民俗文化財
（木地師資料館：東近江市蛭谷 4日前までに要予約/050-5802-3313）

<目加田・目賀田（めかた・めがた・めかだ）さん>

愛荘町目加田が発祥です。近江の国の守護であった佐々木六角氏に代々仕えてきた目賀田氏を祖に持つお名前です。

【文化財】目賀田氏の居城であった目加田城跡：町指定史跡



<近江商人がゆかりのお名前>



西川さん（近江八幡市等）、津田さん（近江八幡市）、国松さん（栗東市）、外村さん（東近江市）などは、江戸時代に全国を渡り歩いた近江商人が広めました。それぞれの商人の出身地がお名前で見分かります。

【文化財】旧西川家住宅（近江八幡市立資料館）：重要文化財
五個荘金堂の町並み（近江商人屋敷 外村宇兵衛邸（写真左）・外村繁邸）：重要伝統的建造物群保存地区

<近江大津宮がゆかりのお名前>

大友さん、錦織さんはいずれも近江大津宮付近の地名とそこに移り住んでいた渡来系氏族が由来となります。さらに、藤原さんは、近江大津宮に遷都した2年後、中臣鎌足が臨終に際し天智天皇から賜った姓のため、藤原さんの発祥の地も滋賀県と言えます。藤原さんから派生した佐藤さん、伊藤さん、加藤さん、斎藤さん・・・も、まとめて滋賀県にお名前のルーツを持っていると言えますね。日本最初の全国的戸籍である庚午年籍（こうごねんじゃく）が作られた（670年）のも、ここ、近江大津宮です。

【文化財】近江大津宮錦織遺跡：国指定史跡
近江神宮：登録有形文化財（写真右：外拝殿）



上坂さん、下坂さん、三田村さん、尼子さん等、湖北を中心とした地名と武将がルーツとなるお名前など、他にも滋賀県発祥のお名前があります。

※由来は諸説あります。